

# 淡江大學 95 學年度碩士班招生考試試題

166-1

系別：日本語文學系

科目：日本文學史

准帶項目請打「V」
簡單型計算機

本試題共 3 頁 -1

本試題雙面印製

一、次の文章はそれぞれ日本文学史上有名な作品の冒頭部分である。その作品と作者を答えよ。各 2% 合計 40%

1. いづれの御時にか。女御、更衣あたまさぶらひたまひけるなかに、いと、やむごとなき際にはあらぬが、すぐれて時めきたまふありけり。
2. 男もすなる日記といふものを女もしてみむとて、するなり。
3. 春は曙。やうやうしろくなりゆく、やまぎはすこしあかりて、紫だちたる雲のほそくたなびきたる。
4. 祇園精舎の鐘の聲、諸行無常の響きあり。沙羅双樹の花の色、盛者必衰の理を顕す。奢れる人も久しからず、只春の夜の夢の如し。猛き者も遂には滅びぬ。偏に風の前塵に同じ。
5. ゆく河の流れは絶えずして、しかも、もとの水にあらず。よどみに浮かぶうたかたは、かつ消えかつ結びて、久しくとどまりたる例なし。世の中にある人と栖と、またかくのごとし。
6. つれづれなるままに、日暮らし、硯に向かひて、心にうつりゆくよしなし事を、そこはかとなく書きつくれば、あやしうこそものぐるほしけれ。
7. 廻れば大門の見返り柳いと長けれど、お齒ぐる溝燈火うつる三階の騒ぎも手に取る如く、明けくれなしの車の行来にはかり知られぬ全盛をうらなひて、大音寺前と名は仏くさけれど、さりとは陽気の町と住みたる人の申き、
8. 国境の長いトンネルを抜けると雪国であった。夜の底が白くなった。信号所に汽車が止まった。
9. 吾輩は猫である。名前はまだ無い。どこで生れたか頓と見當がつかぬ。何でも薄暗いじめじめした所でニャーニャー泣いて居た事丈は記憶して居る。
- 10 禅智内供の鼻と云へば、池の尾で知らない者はない。長さは五六寸あつて上唇の上から顎の下まで下つてゐる。形は元も先も同じやうに太い。云はば細長い腸詰めのような物が、ぶらりと顔のまん中からぶら下つてゐるのである。

	作品名	作者名
1.	①	②
2.	③	④
3.	⑤	⑥
4.	⑦	⑧
5.	⑨	⑩
6.	⑪	⑫
7.	⑬	⑭
8.	⑮	⑯

# 淡江大學 95 學年度碩士班招生考試試題

系別：日本語文學系

科目：日本文學史

166-2,

准帶項目請打「V」
簡單型計算機

本試題共 3 頁 -2

9.	⑰	⑱
10	⑲	⑳

二、日本近代文学における思潮の流行は激しく移り変わっている。A グループにある作者が属している流派を B グループから選べ。各 2% 合計 20%

A グループ

1. 夏目漱石
2. 武者小路実篤
3. 谷崎潤一郎
4. 北村透谷
5. 葛西善蔵
6. 葉山嘉樹
7. 横光利一
8. 井伏鱒二
9. 大宰治
- 10 島崎藤村

B グループ

- ア. 白樺派
- イ. 無頼派
- ウ. 浪漫主義
- エ. 新感覚派
- オ. 耽美派
- カ. 新興芸術派
- キ. 自然主義
- ク. プロレタリア派
- ケ. 私小説
- コ. 余裕派

三、以下の質問に答えよ。各 1% 合計 10%

- 1・日本の最初の漢詩集
- 2・日本の最初の勅撰漢詩集
- 3・日本の最初の和歌集
- 4・日本の最初の勅撰和歌集
- 5・「物語のいできはじめの祖」と言われる作品は何か。
- 6・中世という時代と関連した、『平家物語』を貫く文学理念
- 7・庶民の笑いとも言うべき川柳に見られる文学理念
- 8・能学で美しさの極致を現す文学理念
9. 『猿蓑』に見られる松尾芭蕉の美的文学理念(句の色)
- 10 『炭俵』に見られる松尾芭蕉の美的文学理念

四、『伊勢物語』の第九段に、有名な「唐衣 着つつ馴れにし つましあれば  
はるばる来ぬる 旅しぞ思ふ」という和歌が載せられている。その和歌を  
作った背景について、以下の文章を読んでから、簡単にその背景を説明せ  
よ。(日文、中文のどちらでも構わない)10%

# 淡江大學 95 學年度碩士班招生考試試題

系別：日本語文學系

科目：日本文學史

166-3

准帶項目請打「V」	
<input type="checkbox"/>	簡單型計算機

本試題共 3 頁 - 3

むかし、をどこありけり。そのをどこ、身を要なきものに思ひなして、京にはあらじ、東の方に住むべき国もとめに、とて行きけり。もとより友とする人ひとりふたりして行きけり。道知れる人もなくてまどひ行きけり。三河の国八橋といふ所にいたりぬ。そこを八橋といひけるは、水ゆく河の蜘蛛手なれば、橋を八つ渡せるによりてなむ、八橋といひける。その沢のほとりの木の陰におりゐて、乾飯食ひけり。その沢に、燕子花いとおもしろく咲きたり。それをみて、ある人の言はく、「かきつばたといふ五文字を句の上にすゑて、旅の心をよめ。」といひければよめる。

唐衣 着つつ馴れにし つましあれば はるばる来ぬる 旅しぞ思ふ

とよめりければ、みな人、乾飯のうへに涙落として、ほとびにけり。

五、日本の三大和歌集について、具体的に比較せよ。20%(日文で答えよ)